

声を出すことだけが会話ではない “伝えたい私の気持ち”

- 1. 目的** 難病患者や障がい者、当事者を支える家族の方、医療・福祉・教育関係者が“アクセシビリティ”という新たな視点を取り入れることで、在宅療養されている方々の生活の質（QOL）の向上を図ることを目的として開催します。

また、地域住民の方にも難病や障がい、アクセシビリティについて学んでもらうことで、難病や障がいに関する正しい知識の理解促進およびアクセシビリティといった新たな視点の普及啓発に努め、共生社会の実現を図ることを目的として開催します。
- 2. 主催** 名寄市基幹相談支援センター
- 3. 協力** 東京慈恵会医科大学 “アクセシビリティサポートセンター”
（アクセシビリティサポートセンターは、以下 ASC と記載）
- 4. 日時** 令和7年10月25日（土） 13：30～15：30（受付13：00～）
- 5. 場所** 名寄市立大学 図書館1階 大講義室（名寄市西4条北8丁目）
※駐車場は2号館（旧恵陵館／国道40号側）前をご利用ください。
- 6. 内容** テーマ：声を出すことだけが会話ではない “伝えたい私の気持ち”
第一部：当事者 岡田 彩夢 氏 講演「伝えたい私の気持ち」
第二部：東京慈恵会医科大学 ASC 高橋 宜盟 氏 講演
「こっちがだめなら、あっちがあるさ
～道が開けるアクセシビリティの考え方～」
- 7. 参加対象** どなたでも参加いただけます。
- 8. 参加費** 無料
- 9. 定員** 申込先着50名
- 10. 申込み** 10月17日（金）までに申込用紙に必要事項を記入し、FAXをお送りいただくほか、お電話またはE-mail、下記フォームよりお申込みください。



11. その他 10月26～27日までの2日間、名寄市立大学図書館1階の会議室内にアクセシビリティモデルルームを設置します（日頃アクセシビリティ機器を使用している岡田氏宅の部屋を再現する予定）。モデルルームではアクセシビリティ機器の操作体験が可能のほか、高橋氏への個別相談も可能とさせていただきます。

～登壇者紹介～

おかだ あゆ
・岡田 彩夢 氏

2002年生まれ。名寄市出身。先天性の呼吸器疾患があり、人口呼吸器を使用している。市内小・中学校を卒業したのち、八雲養護学校へ進学。同校卒業後は、北海道医療センターで生活を送る。本人・家族の「地域で生活を送りたい」という思いから、令和3年9月より名寄市に戻り、障害福祉サービスを利用しながら、市内の一軒家にてひとり暮らしを送っている。

たかはし よしあき
・高橋 宜盟 氏

（東京慈恵会医科大学 ASC 訪問研究員 / （有）オフィス結アジア 代表取締役 /
一般社団法人結ライフコミュニケーション研究所代表理事）

アクセシビリティ・コーディネーターとして、病気や障がいのある人たちに向けてICTを活用したコミュニケーション・日常生活支援を行っている。2021年からは東京慈恵会医科大学アクセシビリティサポートセンターの訪問研究員としても活動中。アクセシビリティとは「近づきやすさ」「利用のしやすさ」などと訳されるが、「こっちがダメならあっちがあるさ」という柔軟な考え方がアクセシビリティであると日頃から啓発活動に取り組んでいる。

【お問合せ・お申込先】

名寄市健康福祉部 基幹相談支援センター
障がい相談支援係

担当：中嶋 亮太

電話：01654-3-2111（内線 3218）

F A X：01654-9-2089

E-mail:ny-kikansoudan@city.nayoro.lg.jp